

## 田村のつぶやき 第26号

2024.6.23 発行

文責：島根県立江津高等学校長 田村康雄

### 6月23日、今日は何の日？

アジア・太平洋戦争末期、国内で唯一の地上戦が展開され、最後の激戦地となった沖縄。その沖縄で旧日本軍の組織的戦闘が終結したのが、1945(昭和20)年6月23日です。沖縄では、この日を「慰霊の日」と定め、毎年、糸満市摩文仁(まぶに)の沖縄平和祈念公園で、沖縄戦等の戦没者を慰霊する沖縄全戦没者追悼式が開催されます。

沖縄戦は、1945年3月26日にアメリカ軍が沖縄・慶良間(けらま)諸島に上陸して始まり、沖縄での両軍および民間人を合わせた地上戦中の戦没者は20万人とされ、そのうち94,000人が民間人で、実に沖縄県民の約4人に1人が犠牲になりました(総務省HP「沖縄戦戦没者の推計状況」による)。14~17歳の旧制中学生の男子生徒による鉄血勤皇隊が編成され、少年兵として防衛召集されました。また、女子についても14歳以上の女子生徒を従軍看護婦(看護婦は当時の呼称、もちろん現在は看護師)の代用としたひめゆり学徒隊・白梅学徒隊などが組織され、陸軍病院などで活動しました。彼ら彼女らの多くも犠牲となりました。さらに、戦艦「大和」などの日本海軍残存艦隊による「沖縄特攻」も行われました。鹿児島県南端の坊ノ岬沖での海戦で、沖縄へ海上特攻隊として向かった「大和」とその護衛艦艇をアメリカ海軍の空母艦載機部隊が攻撃。約2時間におよぶ戦闘の結果、「大和」以下6隻が沈没。4,000人以上が犠牲となりました。

宮内庁HPには「忘れてはならない4つの日」として、次の4つがあげられています(注)

- 6/23 沖縄慰霊の日
- 8/6 広島原爆の日
- 8/9 長崎原爆の日
- 8/15 終戦記念日

みなさんも広島・長崎の原爆の日、終戦記念日はよく知っていると思いますが、沖縄慰霊の日は、知らなかった人も多いのではないのでしょうか。宮内庁HPに沖縄慰霊の日があるのは、昭和天皇以降の歴代天皇の沖縄に対する特別の思いがあるからでしょう。

ところで、8/15は終戦記念日と言いますが、この日は昭和天皇のいわゆる玉音放送(終戦の詔勅)が流れた日です。ポツダム宣言受諾は前日8/14です。正式な降伏文書の調印は9/2ですので外交手続き上は9/2が終戦です。

歴史に「if」はタブーですが、ポツダム宣言は7/26に発表されていますので、もしも、この段階で日本が無条件降伏しておれば、広島・長崎の原爆投下はなかったかもしれません。